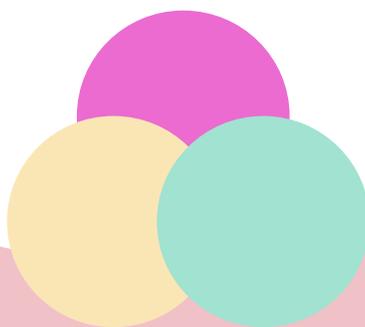


第2期  
まち・ひと・しごと創生  
総合戦略

概 要 版

計画期間 令和2年度～令和6年度



奈井江町

# 地方創生について

我が国の人口は、2008年（平成20年）から減少傾向に転じ、今後も加速度的に減少することが見込まれており、人口減少による消費・経済力の低下は日本経済に大きな影響を与えることとなります。

このため、国では、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏における人口集中を是正し、将来に渡り活力ある日本社会を維持していくため、各種施策に取り組んでいるところです。

奈井江町においても、少子高齢化の進展、生産年齢人口の減少による労働力の減少や地域活力の低下など様々な面での影響が懸念されることから、第1期「奈井江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」で根付いた意識や取り組みに、新たな視点を加えた第2期「奈井江町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定し、国や北海道と一体となって各種施策の取り組みを進めていきます。

## 国の長期ビジョン

### 1 人口問題に対する基本認識

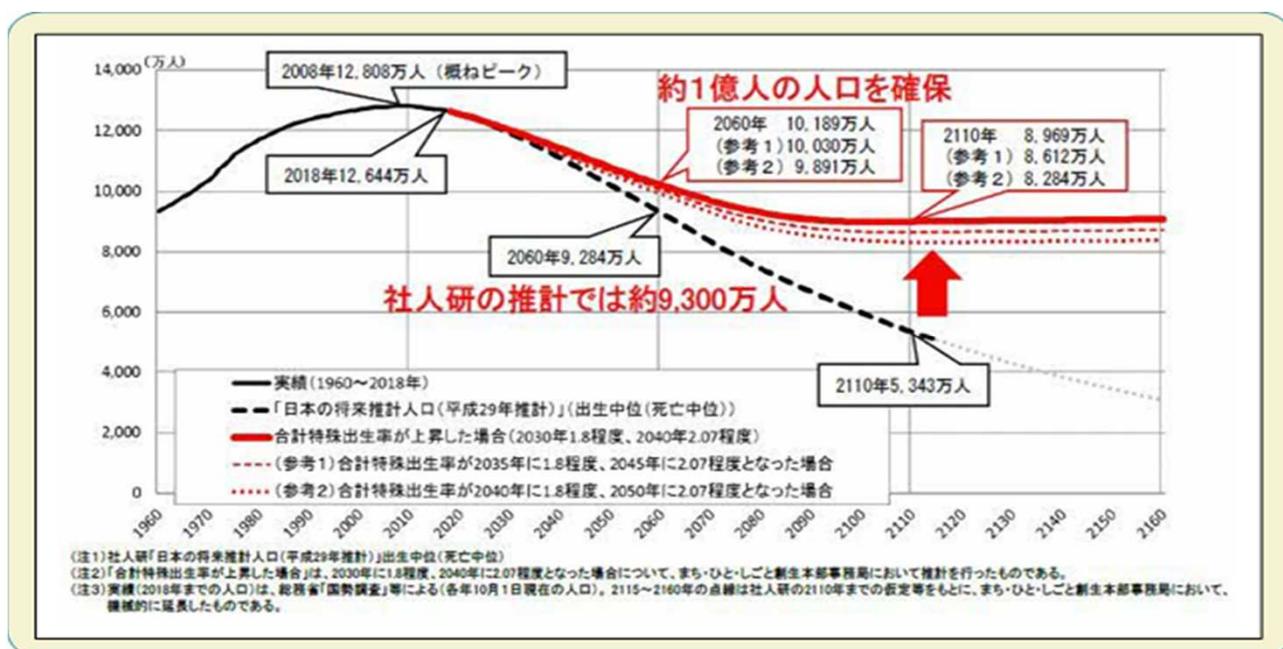
- ★ 加速すると人口減少と高齢化率の上昇 【加速度的な人口減少、さらなる高齢化 等】
- ★ 人口減少により地域経済社会に悪影響 【地方経済の縮小、生活サービスの維持確保が困難 等】
- ★ 東京圏への一極集中 【2014年に比べ、さらに超過】

### 2 人口減少問題に取り組む意義

- ★人口減少が地域経済社会に与える影響（人口減少の負のスパイラル）
- ★合計特殊出生率の向上が5年遅くなると、将来の定常人口が約300万人少なくなると推計
- ★結婚・出産・子育てに関する国民の希望
- ★地方への移住に関する国民の希望

### 3 長期的な展望

- ★人口の長期的展望（出生率を1.8程度の水準）
- ★地域経済社会の展望（地域外からの稼ぐ力を高める、関係人口の創出・拡大）



# 国の総合戦略

## 1 地方創生の目指すべき将来

地方においては、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高く、人口減少の克服や地方創生のために、国と地方公共団体がしっかりと危機感を共有し、日本が抱える課題の解決に一体的に取り組み、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と「東京圏への一極集中」の是正をともに目指すこととしています。

### 将来にわたって「活力ある地域社会」の実現

人口減少を和らげる

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

魅力を育み、ひとが集う

地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内の経済循環を実現する

人口減少に適応した地域をつくる

### 「東京圏への一極集中」の是正

## 2 政策の方向性

将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と、「東京一極集中」の是正を共に目指すため、4つの基本目標と2つ横断的な目標を定めています。

### 基本目標 1

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

- ・地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現
- ・安心して働ける環境の実現

### 基本目標 2

地方とのつながりを築き地方への新しいひとの流れをつくる

- ・地方への移住・定住の推進
- ・地方とのつながりを構築

### 基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・結婚、出産、子育てしやすい環境の整備

### 基本目標 4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- ・活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保

## 3 横断的な目標

横断的な目標 1	多様な人材の活躍を推進する	①多様なひとびとの活躍による地方創生の推進
		②誰もが活躍する地域社会の推進
横断的な目標 2	新しい時代の流れを力にする	①地域における Society5.0 の推進
		②地方創生 SDGs の実現などの持続可能なまちづくり

## 4 第2期における新たな視点

1. 地方へのひと・資金の流れを強化する
2. 新しい時代の流れを力にする
3. 人材を育て活かす
4. 民間と協働する
5. 誰もが活躍できる地域社会をつくる
6. 地域経営の視点で取り組む

# 奈井江町まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 基本目標 1 | 新たな活力を生み出す「しごと」づくりを目指す

本町の基幹産業である農業の振興とともに、地域の優位性でもある豊かな自然と地域資源を活かした産業振興を推進し、若い世代にとって「魅力」や「やりがい」のある仕事を創出し、安定した雇用の確保を目指します。

### ● 数値目標

指 標	基準値 (R1)	数値目標 (R6)
若者の雇用創出数	43人 (H27~R1平均)	43人 (R2~R6平均)
法人数	164事業所	170事業所

### ● 基本的な方向と具体的な施策

(1) とともに支えあい、いきいきとした就労の場をつくる

- 奈井江町障がい者短期就労パワーアップ事業
- 地域おこし協力隊活用事業

(2) 次世代につながる強い農業づくりを推進する

- 良食味米の安定生産と生産体制の強化
- 特別栽培米（減農薬栽培米）の取り組み推進
- 農産物販路拡大の推進
- 農業後継者の育成や法人化の促進
- スマート農業推進事業
- 6次産業化・特産品の開発等の検討

(3) 立地企業への支援や企業誘致を推進する

- 中小企業振興保証融資や相談支援
- 新規立地企業や事業拡大に対する企業支援
- 空知団地を中心とした企業誘致の推進
- 遊休公共施設を活用した企業誘致の推進

[重要業績評価指標(KPI)]

地域おこし協力隊員数、良食味米の出荷数量、特別栽培米作付け面積、スマート農業推進事業申請件数、新規保証融資件数 など

## 基本目標 2 | 奈井江町に新たな「ひと」の流れをつくる

町内立地企業従業員の若者や子育て世代をターゲットにした定住施策を中心に展開するとともに、広大な自然や豊かな食など、本町の優れた地域資源を町内外に広く発信するとともに、町民企画型のイベントなどの開催により新しいひとの流れを創出します。

### ● 数値目標

指 標	基準値 (H27~R1平均)	数値目標 (R2~R6平均)
転入者数	163.8人	170人

### ● 基本的な方向と具体的な施策

(1) 奈井江町への移住・定住対策を推進する

- 民間賃貸住宅の家賃助成、新築・中古住宅購入助成
- 移住・定住PR事業
- 情報発信の強化
- 企業版ふるさと納税制度活用事業
- 地方創生移住支援事業

(2) 活気のあるイベントの開催を推進する

- コンサート等の開催
- まちづくりチャレンジ事業（イベント開始支援型）

(3) 独身者の出会いのきっかけづくりを推進する

- 結婚活動事業の開催
- 結婚活動希望者に対する情報発信

(4) 中心市街地活性化を推進する

- 多機能型交流施設整備への支援や町・農協・商工会連携事業の展開
- 交流プラザみなクルや文化ホールとの連携事業

[重要業績評価指標KPI]

民間賃貸住宅家賃新規助成件数、新築・中古住宅購入助成件数、東京圏からの転入者数、SNSフォロワー数、コンフェルトホール利用人数、新たなまちのイベント創出数、結婚活動事業参加者の婚姻件数、中心市街地歩行通行量、イベント延べ参加者数

## 基本目標3 | 安心して子育てができる「まち」づくりを目指す

若い世代の「結婚して子どもを産み育てたい」という希望をかなえるため、結婚・妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進めます。

### ● 数値目標

指 標	基準値 (R1)	数値目標 (R6)
合計特殊出生率	1.15 (H20～24)	1.48 (H30～R4)
出生数	23人	25人

### ● 基本的な方向と具体的な施策

#### (1) 健やかに産み育てる環境・体制整備を充実させる

- 学童保育利用料・・・第3子以降の無償化
- 学校給食費・・・第2子半額助成、第3子以降無償化
- 認定こども園保育料・・・0～2歳児の第3子以降及び3～5歳児無償化
- 不妊治療費負担軽減事業
- 予防接種事業の助成拡充
- 子ども医療費の助成
- 5歳児相談等の実施
- 小児期の健康診断や相談体制の充実 など

#### (2) 特色ある学校教育の充実と基礎・基本の定着を図る

- 保(幼)・小・中・高の密接な連携による教育活動の推進
- 小学校全学年での35人学級編成
- 外国語指導助手の増員
- 奈井江商業高等学校在校生への支援
- 放課後学習指導の実施
- 中学生を対象とした公設塾の開設
- 英語検定・漢字検定受験料の助成 など

#### [重要業績評価指標(KPI)]

認定子ども園待機児童数、不妊治療費助成件数、英語検定合格率、漢字検定合格率、全国学力・学習状況調査全国平均

## 基本目標4 | 健康で安心な暮らしを守り、生きがいのある「まち」づくりを目指す

職業や年齢に関わらず、だれもが安全で安心して住み続けられるまちづくりを進めるとともに、職業や立場を問わず、町内の様々な世代が交流し、人や企業・団体、町の協働によるまちづくりを目指します。また、広域連携等を通じて、近隣市町との連携をさらに深めていきます。

### ● 数値目標

指 標	基準値 (R1)	数値目標 (R6)
転出者数	184.2人	170人

### ● 基本的な方向と具体的な施策

#### (1) 一人ひとりの健康づくりに対する支援を充実させる

- 健康づくりの推進

#### (2) 安心して生活できる基盤整備を推進する

- 医療・介護サービスの推進
- 高齢者見守り体制の充実
- 地域包括ケアシステムの推進
- CCRC構想の推進

#### (3) 町民のコミュニティ形成を推進する

- コミュニティカフェ運営事業
- 地域公共交通の利用促進
- 地区担当職員の設置
- サロン活動等の充実

#### (4) 地域連携による経済・生活圏の形成を推進する

- 自治体広域連携の推進

#### (5) 住民と一体となった防災・救急体制の充実を図る

- 消防団の充実・強化
- 車両整備事業

#### (6) スtockマネジメントの強化を図る

- 公共施設総合管理計画 個別施設計画の策定

#### (7) 地域で活躍する人材を育成する

- まちづくりチャレンジ事業 (イベント開始支援型、G C F型)

#### [重要業績評価指標KPI]

健康だと思う人の割合、認知症サポーター養成者数、サロン活動組織数、生活支援ボランティア(ちょボラ)登録者数、広域的取組消防団員数、公共施設総合管理計画個別施設計画の策定、まちづくりチャレンジ事業活用団体数

# 重要戦略

人口減少対策に特に効果的な施策を実施することが重要であることから、総合戦略の大きな柱として、次の2つの戦略を「重要戦略」として位置づけ、特に重点的に実施します。

## 重要戦略

### 1

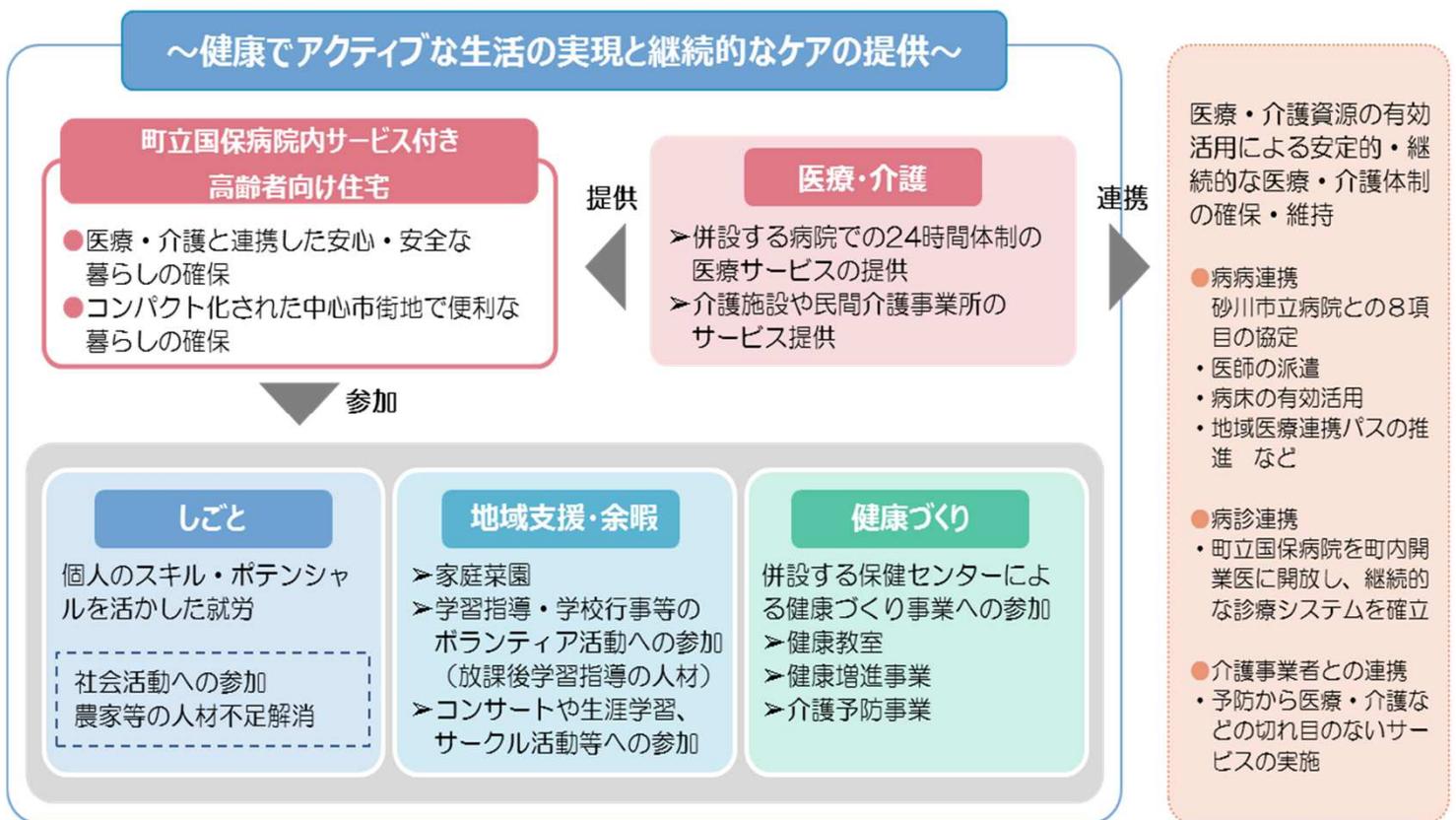
## 奈井江版CCRC（生涯活躍のまち）構想戦略

～地域包括ケアシステムの推進～

人口減少と少子高齢化が進む中、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの一層の推進が必要となっています。

このため、町立病院に併設したサービス付高齢者向け住宅「あんしん」において、身近な医療と介護サービスの提供に加え、地域のつながりの中で、安心して生活を続けられるよう、施設の特徴を活かした運営を進めていきます。

また、地元介護サービス事業者との連携により、医療・介護・予防などのサービスが切れ目なく一体的に提供されるよう、在宅・施設のサービス提供体制の充実を図るとともに、移住者も含めた地域住民がコミュニティの一員として役割や生きがいを持ち、それぞれの経験を活かして、できる限り長く活躍できるよう「奈井江版CCRC（生涯活躍のまち）構想戦略」を推進していきます。



## 重要戦略

# 2

## 町外通勤者等をターゲットにした移住・定住戦略

町内進出企業には、約800人を超える従業員がおり、新規学卒者の地元雇用や地域の定住等にも貢献しているものの、その約70%が町外から通勤している状況にあり、町外従業員の定住化を促すことが重要な課題となっています。

また、町内にある社員寮に入居している独身者においては、結婚などを機に町外へ転出する傾向があります。

そのため、町内立地企業の従業員を中心に町内に居住する独身者や若年層、町外からの通勤者をターゲットに、従来の定住対策の対象要件を拡充し、総合的に子育て支援策を実施するとともにホームページやSNSを活用しながら、町内外の住民の移住や定住を促進していきます。

### ターゲット

- 町内企業に従事している町外者（雇用者数約800人、70%が町外）
- 町内にある社員寮に居住する独身者

### 住宅施策

- 民間賃貸住宅の家賃助成
- 新築・中古住宅の購入助成など

### 子育て支援策

- 結婚期  
出会いのきっかけづくり（婚活事業）
- 妊娠期  
不妊治療費助成、一般健診・超音波検査費用助成、ママ友クラブ、健康相談 など
- 子育て期  
子ども医療費無料化、保育料・学童利用料・学校給食費第3子以降無償化や半額助成など、すこやか健診、フッ化物洗口、公設塾  
予防接種助成品目の拡充 など

情報発信

ホームページ、  
SNS  
新聞広告、  
折込チラシ  
など

移住・定住先として奈井江町を選択

効果

“まち”の  
にぎわい・活性化

- 若者や子育て世代の移住・定住
- 空き家の解消
- 出生率の向上
- 子育て世代の情報交流

人口減少に歯止め



第2期  
まち・ひと・しごと創生  
「総合戦略」概要版

発行年月：令和2年3月

発行：奈井江町

編集：企画財政課 政策推進係

住所：北海道空知郡奈井江町字奈井江11番地

電話：0125-65-2112